

九品仏川緑道サクラ再生実行計画 現地調査会

～桜並木の将来像を考えよう～

開催日時：令和2年(2020年)10月22日(木)13:30～14:30

主題「桜並木の現状・課題と将来像」



九品仏川緑道・調査ポイント

- ① 高架付近の樹勢不良問題
・桜の根と舗装の攻防、土の硬さと日照
- ② 住宅地での共存問題
・低木と桜と電線、人や車の通行
- ③ 現状の問題、適切な植栽間隔
・九品仏川緑道の桜が抱える病害
- ④ 踏切手前の景観改善
・通路確保と桜の健全育成の両立



- ・新型コロナウイルス感染予防のため、マスクを着用してご参加ください。
- ・当日、熱・咳・だるさのある方は出席をお控えください。

お問合せ：目黒区みどり土木政策課 電話 03-5722-9745 受託者：株式会社エコル

九品仏川緑道サクラ再生実行計画 現地調査会

～公園を彩る桜の将来像を考えよう～



かつての川の流れをなぞるように桜並木が続く九品仏川緑道。残念ながら近年、桜の老齢化や環境の変化による樹勢の衰えが気になります。

九品仏川緑道の桜についてどのような将来像を目指していくかを皆さんと検討したく、本日は代表的な4地点をたどる現地調査会を開催します。

①高架付近の樹勢不良問題

★人工地盤＋独立樹＋建物や通路が近接



大枝の枯れ

幹の傾斜

巻根

キノコ

舗装のひび割れ・縁石の隆起

<調査結果>

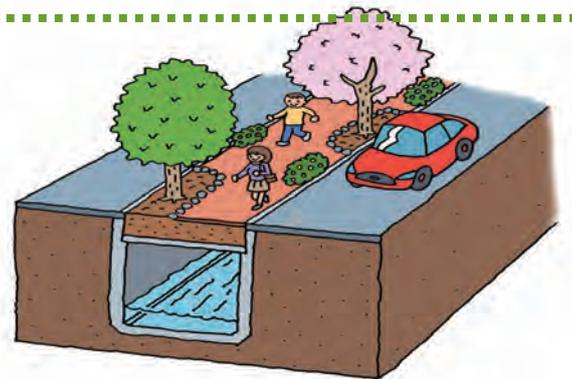
- ・「注意すべき被害」「著しい被害」の衰弱木多数
- ・土壌硬度：地下20cmより下は根が入らない硬さ
- ・建物脇では枝が影を避け、日照を求めて伸びる

➔ 根と樹冠が広がる空間が不足し、土壌中の水分も乏しい

∴ 植え樹を大きく確保し広範囲の土壌改良を行って、小ぶりの品種への植替えを推奨

●人工地盤って？

九品仏川緑道は川の上にコンクリートの蓋をかけて土を盛り、人が通れるようにつくられた「人工的」な「地面」です。地下や両脇がコンクリートで仕切られているため、樹が大きくなると小さすぎる植木鉢の中のように土や水が足りなくなってしまう。

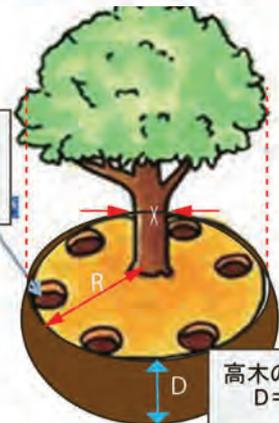


●土壌改良の範囲って？

樹が将来どれだけ大きくなるか理解し、その地上部を支えるための地下の根系がしっかり育つよう、土壌の柔らかさや養分、水抜けや水持ちを改善するのが土壌改良です。

おおよそ成木の樹冠の枝先までは根が広がっていると考えてください。大枝が折れた木や苗木の場合は幹直径の12倍、深さ最低60cmと考え、その範囲の土の硬さや水分条件を改善するようお勧めします。

高木の根の広がる範囲
樹冠投影線 または
 $R = \text{幹の直径} \times \text{cm} \times \text{約} 12 \text{倍}$



高木の根の育つ深さ
 $D = 60\text{cm}$ 以上必要

②住宅地での共存問題

★人工地盤＋豊富な植栽＋住戸や道路が近接



陽当たり良好・土壌は乾燥

深植えて根が酸素&水不足

低木中木の過密植栽・根の競合

電線と樹冠の接触・支障枝切除

大型で成長旺盛なソメイヨシノは器が「人工地盤」だと収めきれない



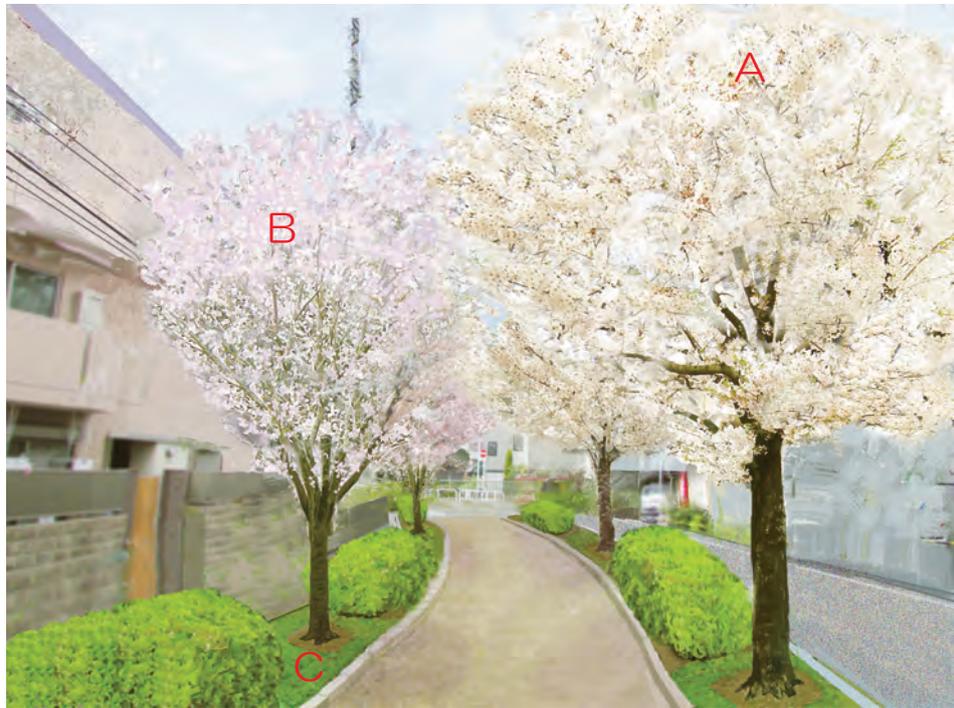
桜の品種を小型化しないと問題は再発

将来の改善案

A) 既存の「ソメイヨシノ」を保全しつつ、植替えの必要性が発生した場合、よく似た「コシノヒガン」主体へ植替える

B) 周囲の環境を見ながら、「コシノヒガン」の間にもっと小型の桜「コヒガン」を組み合わせる

C) 植替え後の桜のまわりは根の健全育成のため、大きくならない低木や根の浅い地被類に変更



●深植えて？

樹木は葉っぱだけでなく地下の根も呼吸をしています。根と幹の境より上に土が被ると地中の酸素が足りず根は窒息して衰弱、または根上がりをおこします。住宅地では樹の根元にプランターの土が捨てられていることが時々ありますが、樹勢が衰える要因です。ご家庭の不要な土を緑道に捨てないように、ご協力をお願いします。



桜の樹の根元に盛られた植木鉢の土

●危険な外来昆虫、クビアカツヤカミキリにご注意！

大食漢の幼虫が樹の幹の内部を食い荒らして桜や桃を一気に衰弱させる恐ろしい害虫クビアカツヤカミキリ。目黒区内ではまだ被害はありませんが、もしもこんな大型のフラス（木くずと虫の糞が混ざった物）を見つけたらぜひ目黒区へご連絡をください。



埼玉県環境科学国際センター「サクラの外来害虫「クビアカツヤカミキリ」被害防止の手引き」より

③現状の問題、適切な植栽間隔

★人工地盤＋老木が抱える病虫害＋接近しすぎる樹冠



風で折れる枝・擦れる枝どうしの接触伝搬

昆虫の食害・穿孔傷

空気中・土中の菌感染

→ 新たに導入した若木の衰弱・成長不良

九品仏川緑道の桜に出ている
多数の病害・腐朽菌のキノコ達



∴まず老木の衰退原因把握と対策検討＋適切な間隔を保った若木植付とその後の維持管理

④踏切手前の景観改善

★人工地盤＋狭い通路空間＋歩行安全と根の保護



桜の根上がり・歩行障害

踏圧による根の傷

踏圧による土壌の固結

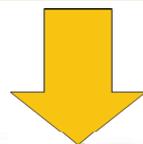
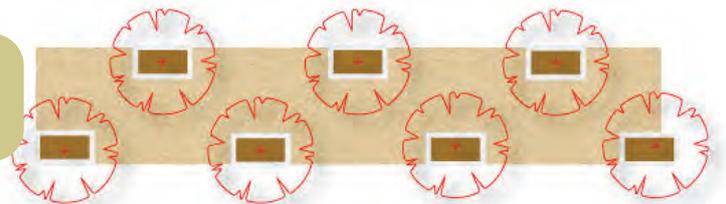
巻根による壊死

落枝予防の枯枝剪定で崩れる樹形

→ 樹勢の悪化と美観の悪化が進行中



現状) 大型の桜を
単独樹で千鳥配置



将来)
植栽帯と歩道を分離。
小ぶりの桜を片側に
間隔をあけて配置

∴将来の樹の成長を見越し、通行の安全性・美観維持を両立させる桜の品種と配置を推奨